

平成30年度2次補正予算案（防衛省所管）の概要

防衛省計上額 3,998億円

1 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に基づく措置 131億円

重要インフラの緊急点検の結果等を踏まえ、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策のうち、初年度の対策として速やかに着手する。

- 自衛隊施設の整備（耐震化・老朽化対策） 68億円
- 自家発電機の整備（電力供給能力の向上） 35億円
- 施設器材（中型ドーザ、トラッククレーン）の老朽更新 8億円 等

2 自衛隊の安定的な運用態勢の確保 3,822億円

我が国を取り巻く安全保障環境や頻発する自然災害に対応するため、自衛隊の安定的な運用態勢を確保する。

- 戦闘機(F-35A)、固定翼哨戒機(P-1)、輸送機(C-2)、哨戒ヘリコプター(SH-60K)等の整備 3,177億円
- 車両・艦艇・航空機等の整備維持 32億円
- 原油価格の上昇に伴う油購入費・営舎用燃料費の増額 310億円
- ソマリア・アデン湾における海賊対処行動の派遣期間延長に係る経費 13億円 等

3 隊員の生活・勤務環境の改善 764億円※

隊員の生活・勤務環境の改善を図るため、隊舎や宿舎などの整備を推進する。

- 隊舎、宿舎等の整備 749億円※
- 営舎用備品（居室用ロッカー、洗濯機等）の整備等 10億円
- 障害者雇用の推進に必要な機器等の整備 6億円※ 等



隊舎の整備



ロッカー等の整備



洗濯機の整備

注：※の金額は、契約ベースである。